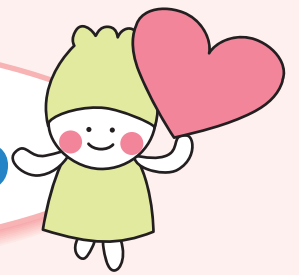


# もみじ台地区 福祉のまち推進センターの 取り組み



もみじ台地区は、「新住宅市街地開発法」に基づいて、昭和42年に造成に着手した札幌市最大の住宅団地です。大規模な団地は、東西南北の4つの住区から構成され、中心にショッピングセンターや管理センターがあり、冬期間の快適性の確保とエネルギーの効率化などを図るために地域暖房を採用するなど、当時考えられていた最先端のまちづくりが行われました。現在は、造成当初に入居された方々の高齢化が進んでおり、平成27年1月1日現在で高齢化率が40.3%（住民基本台帳による統計）と市内で2番目に高い地区となっています。

今回は高齢化が進むもみじ台地区ならではの地区福祉のまち推進センター（以下、地区福まち）による、今年度の取り組みについて一部ご紹介いたします。



## 子どももおとなもサポーターに！ 「みんなが知りたい 認知症」講座

地区福まちでは、昨年度より「認知症になっても、ご本人やご家族が安心して暮らせる地域づくり」をスローガンに研修会や相談会を行ってきました。

今年度は、もみじ台地区で年に1度開かれる一大イベント「地域の大広間」に併せて、研修会を行いました。このイベントには、子どもからお年寄りまで幅広い世代の方々が参加するため、少しでも多くの人に「認知症」について知ってもらう絶好の機会として企画しました。

内容としては、厚別区第1地域包括支援センターの職員から「認知症」に関する全般的なお話をした後、札幌認知症の人と家族の会の会員の方から経験談をお話いただきました。

当日は、45名の参加がありました。



## 地域の心のオアシス ほっと安心「相談室」



地区福まちでは毎週月曜日に相談室を開催しています。地域の方がより相談しやすい環境とするため、平成25年度より「ほっと安心『相談室』」と名称を改め、積極的なPR活動を行い、開催場所も人通りが多く目につきやすい場所に移しました。また、今年度からは、相談機能だけでなく、誰もが気軽に立ち寄れるスペースも設けました。その結果、来所者数は年々増えています。

この相談室には、主に民生委員児童委員で構成される「ボランティア相談員」が毎回従事するほか、「地域包括支援センター」、「介護予防センター」、「区保健福祉課 保健師」および本会の職員が開催日ごとに交替で従事しています。



▲常に間口は開けて「気軽にどうぞ」

開催日時：毎週月曜日（10時～12時、13時～15時）  
開催場所：もみじ台管理センター1階 会議室（北洋銀行向い）  
《問い合わせ先》もみじ台まちづくりセンター ☎897-6121



▲「休憩・おしゃべりコーナー」もあります！